



5

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2020年6月7日号

編集 / 毎日新聞社販売局D・クリエーションセンター



将棋・名人戦第1局

11日(木) = 社会面など



新型コロナの影響で開幕が延期されていた将棋の第78期名人戦（毎日新聞社、朝日新聞社主催）が、いよいよ開幕します。豊島将之名人（写真⑤）に、現在3冠の渡辺明王将（同⑥）が挑みます。豊島名人は前期、初

挑戦でタイトルを奪取。竜王と2冠を持ち、初防衛を期します。対する渡辺王将は、これまで計25期のタイトルを持ちながら名人位は遠く、今回が初挑戦です。共に10代で棋士デビューした実力者です。各棋戦とも延期が相

次ぎ、2人とも超過密日程。豊島名人は挑戦者として21日から叡王戦が始まり、渡辺王将は8日から藤井聡太七段の挑戦を受ける棋聖戦に臨みます。体力も問われる激闘となりそうです。

業務とパワハラどこで線引き？

11日(木) = 暮らしナビ面

大企業にパワハラ防止対策を義務付けた改正労働施策総合推進法などが6月から施行されました。これに伴い初めて作成されたのが、具体的な対策の内容や何がパワハラに当たる

かを示した指針です。その内容を探りました。また、うつ病など精神疾患を巡る労災を認定する際の基準に、新たにパワハラが加わることになりました。認定にどう影響するかも考え



英国在住ライター・ブレイディみかこさんインタビュー コロナ禍で見えた英国の転機

8日(月) || タリ特集ワイド

新型コロナウイルスの感染拡大は学校や職場、地域社会を一変させ、緊急事態宣言の解除後も、以前と全く異なる日常が続いています。日本よりはるかに多数

の死者を出した英国でも、コロナによって政治や社会の重大な転換点を迎えるそうです。1990年代から英国で暮らし、著書「ぼくはイエローでホワイトで、」

ちよつとブルー」などで知られるライターのブレイディみかこさん(55)に取材しました。

論点

eスポーツの未来

10日(水) = オピニオン面

新型コロナウイルスの影響でスポーツの延期や中止が相次ぎ、eスポーツが注目されています。eスポーツはエレクトロニック

スポーツの略で対戦型コンピュータゲームで競います。今、野球やサッカーを中心に仮想と現実の融合が進んでいます。

大会に参加した元Jリーガーと主催した日本野球機構の担当者、eスポーツに詳しい専門家がeスポーツの未来を考えます。



竹橋の窓辺から
編集後記
今月より「毎日新聞@宣伝部」というSNSアカウントを開設しました。2022年に創刊150年を迎える毎日新聞のさまざまな「みどころ」を発信していきたいと思っております。お時間あるときにのぞいていただけると嬉しいです。
汗ばむ季節になりましたが、「新しい生活様式」の中で、楽しむと違った「夏」を楽しみたいですね！
(高橋将平)



毎日新聞@宣伝部
@mainichiDCC